

心電図検定対策講座

ST-T 再分極にこだわる

松阪中央総合病院循環器内科 杉浦 伸也

心電図における ST-T 部分は、心臓のポンプ機能を担う心室筋が電氣的に興奮した後、元の状態へ回復していく過程、すなわち再分極を反映しています。この再分極過程は心室筋の虚血、障害、電解質異常、薬剤の影響などを鋭敏に反映するため、ST-T の評価は心電図読影において極めて重要です。ST 偏位や T 波の形態変化は各疾患で特徴的なパターンを示すことが多く、これらを体系的に理解することで、心電図から病態を推測する力が高まります。本講演では、実際の症例心電図を提示しながら、ST-T 再分極変化に「こだわって」観察する視点を整理し、実践的な読影のポイントを解説します。